

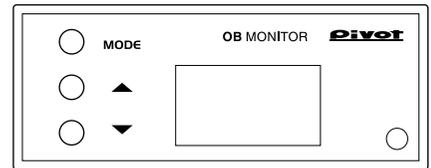
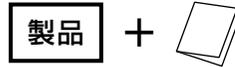
# 取扱説明書 (品番：OBM)

# OB MONITOR

OBD MULTI MONITOR with OLED DISPLAY

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



## 目次

セット内容・警告・注意	1
特長	2
各部の名称	2
配線接続方法	2
製品の固定	3
通信方式の設定	4
操作方法	5~6
表示項目と表示範囲	7
故障かな?と思ったら	8
(輝度自動調整)	8
(一部車種で電源をIGNへ変更)	8

## 内容物をご確認ください



**警告** 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 本製品は対応車以外には装着できません
- 作業中はクルマが勝手に動きださないようにし、排気ガス等の換気に注意してください
- 走行中は脇見運転を防ぐため製品操作は避けてください
- コードの表面を傷つけたり、金属などに挟まないようにしてください
- 運転中に製品が落下しないようしっかり装着してください

**注意** 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 純正と異なるECUやサブコンを使用している場合は、正常に作動しない場合があります
- 他社製品との故障診断コネクタの併用はできません
- PIVOT製品の故障診断併用についてはこちらをご覧ください ⇒ <https://pivotjp.com/obd/>

# 特長

## コンパクトで見やすい次世代型 OBD マルチモニター

### ■ コンパクトで見やすい

有機ELにより広い視野角と高いコントラストと独自のスケールデザインで、見やすい表示とコンパクトデザインによって純正メーターなどの表示への支障や、ダッシュボード上などへの後付け感なく見やすい場所への装着が可能です。

### ■ シングルとマルチ表示

表示は1種類を独自のアナログとデジタルで表示するシングルと、3種類をデジタルで同時表示するマルチが用途に応じ切り換え可能です。

### ■ OBDへ簡単装着

接続は車内のOBDにコネクタを差し込むだけの簡単装着です。

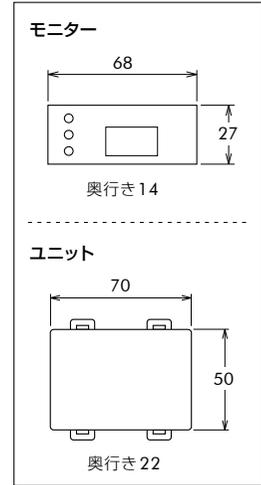
### ■ エリア別切り換え表示

シングル表示でのアナログ表示部のブーストとバキューム、ハイブリッド車のエンジン回転とモーター回転は、数値に応じ見やすくエリア別表示に自動切り換えします。

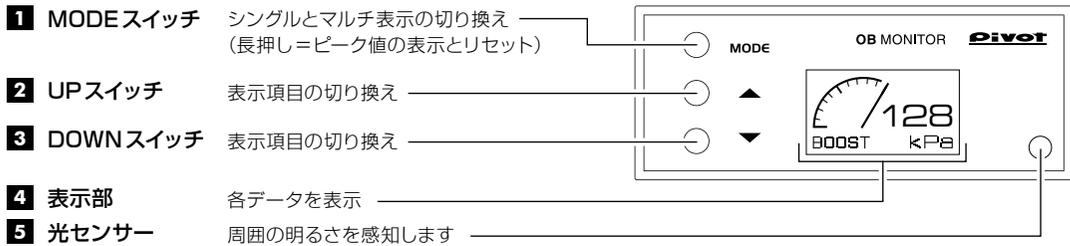
### ■ 輝度自動調整

周囲の明るさに応じ輝度を自動調整し、夜間の眩しさを軽減します。また、車内温度が高温の場合、表示体の性能低下防止のため温度に応じ輝度を自動調整します。

サイズ [単位:mm]



## 各部の名称 (モニター部)



## 配線接続方法

- ① モニターとOBDコードのコネクタをユニットに差し込む。
- ② OBDコネクタを故障診断コネクタに差し込む。

故障診断コネクタの位置は  
付属の【対応車表】を参照



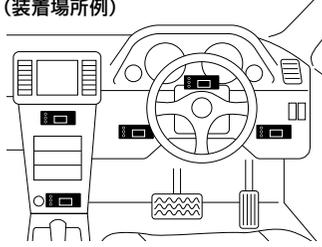
### 【参考】OBDコネクタ取扱時の注意点

<p>差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。</p>	<p><b>△ 注意</b></p> <p>コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。</p>	<p><b>凸部を握れない場合</b></p> <p>車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。</p> <p>その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。</p>
-----------------------------------	---	---

# 製品の固定

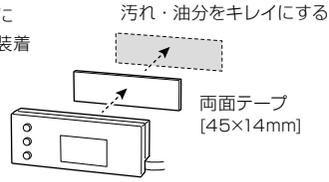
**モニターの固定** できるだけ表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

(装着場所例)



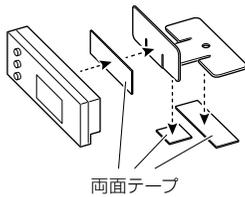
●直接装着する場合

モニターの装着面に  
両面テープを貼り装着

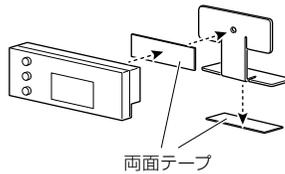


●L字ステーで装着する場合

低い位置に設置する場合



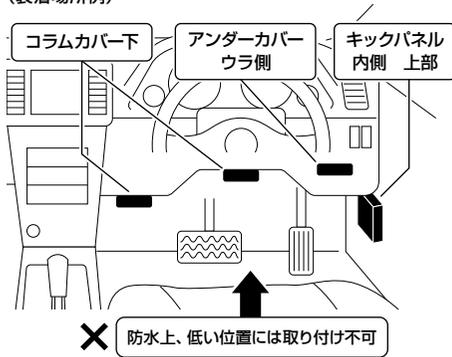
高い位置に設置する場合



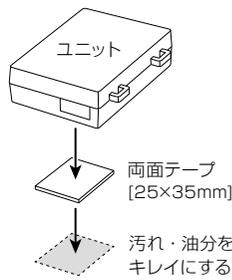
## ユニットの固定

図のような、水のかからない場所に固定してください。

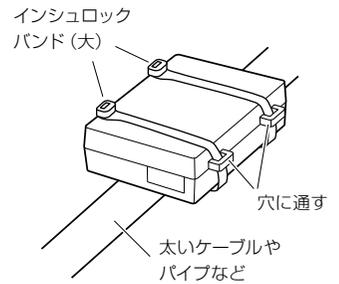
(装着場所例)



●平面に固定する場合



●ケーブルやパイプなどに固定する場合



**配線は束ねる**

配線後のコードは、運転中に絡んだり、ドアなどに挟み込みショートしないようにテープなどで束ねてください

# 通信方式の設定



製品装着後 = 必ず設定する

## 【設定前に】

### 対応車表の見方

対応車表

付属の対応車表で、装着車の通信方式をご確認ください。

例：トヨタアイシス (H21.9～) の場合

この通信方式を設定する

TOYOTA

車名	年式	エンジン型式	通信方式	回転	水温
アイシス	H21.9～	3ZR-FAE	A	○	○
		2ZR-FAE			

## 【設定方法】

- 1** エンジン始動  
(ハイブリッド車は READY 状態)



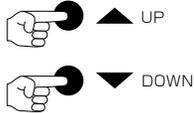
START

- 2** UPスイッチを5秒長押し



※ この時、モニターは表示中でも消灯中でも設定に移行できます。

- 3** UP / DOWN スイッチを押すごとに通信方式が切り換わるので、付属の対応車表の通信方式に設定する



- 4** 通信方式を確定する  
(MODE スイッチを押す。または 5 秒後自動確定)



MODE

- 5** 設定確定

通常表示

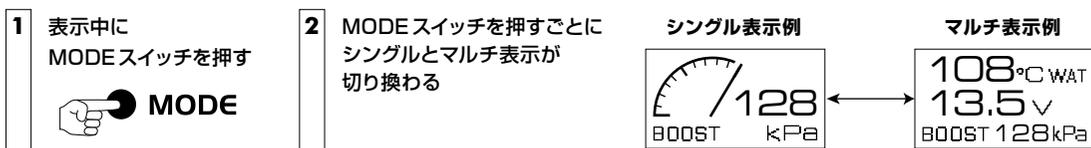


C 設定の車種が違う通信方式に設定すると、バッテリー上がりの原因になりますので間違えないようご注意ください。

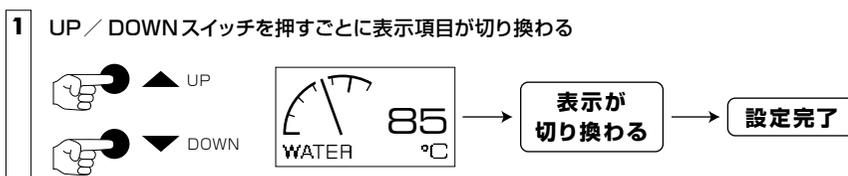
※ OBD コネクターを外したり、バッテリーを交換等でも、設定した通信方式は記憶されているため再設定は不要です。

# 操作方法

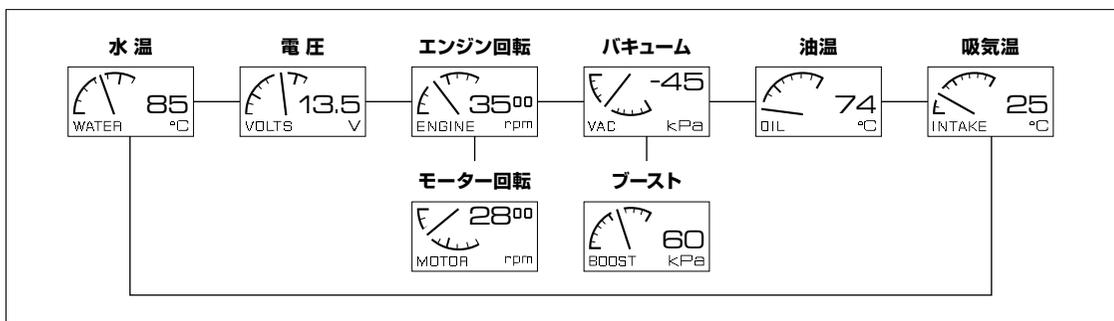
## 表示モードの切り換え シングル表示とマルチ表示の切り換え



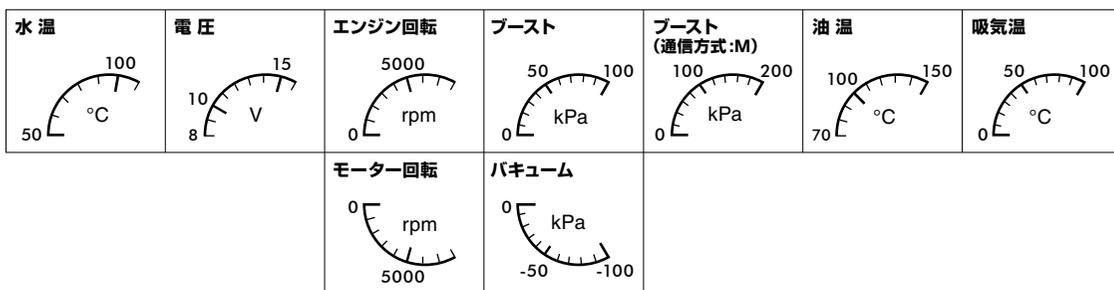
## シングル表示の切り換え



**【各表示項目】** ※ 通信方式により表示項目が異なります。(7ページ参照)

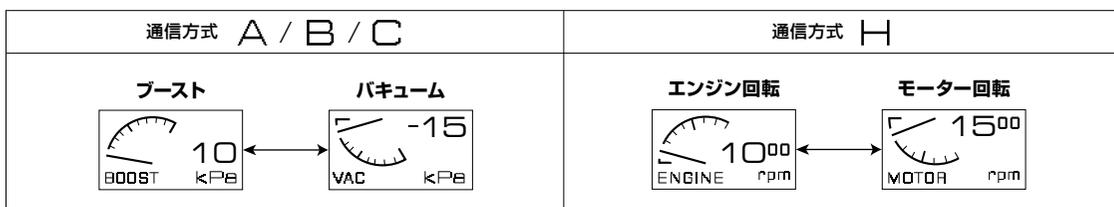


**【各アナログ表示の目盛り】** ※ 各数値は表示されません。



## 【エリア別切り換え表示】

通信方式が下記の場合、アナログ表示が数値に応じてエリア別に自動切り換え表示します。



# マルチ表示の切り換え

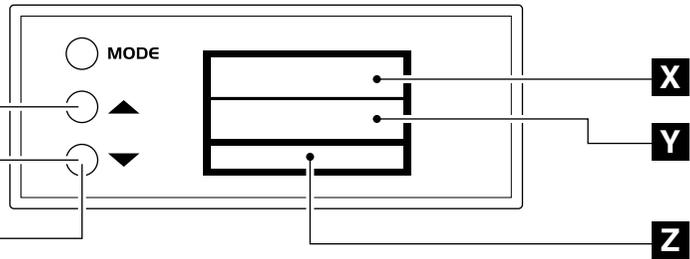
1 マルチ表示中に下記スイッチ操作で各表示が切り換わる

押すごとに **X** 表示の切り換え

押すごとに **Y** 表示の切り換え

3秒長押し **Z** 表示の切り換え

3秒長押し後、表示点滅中に UP / DOWN スイッチを押すごとに表示切り換え

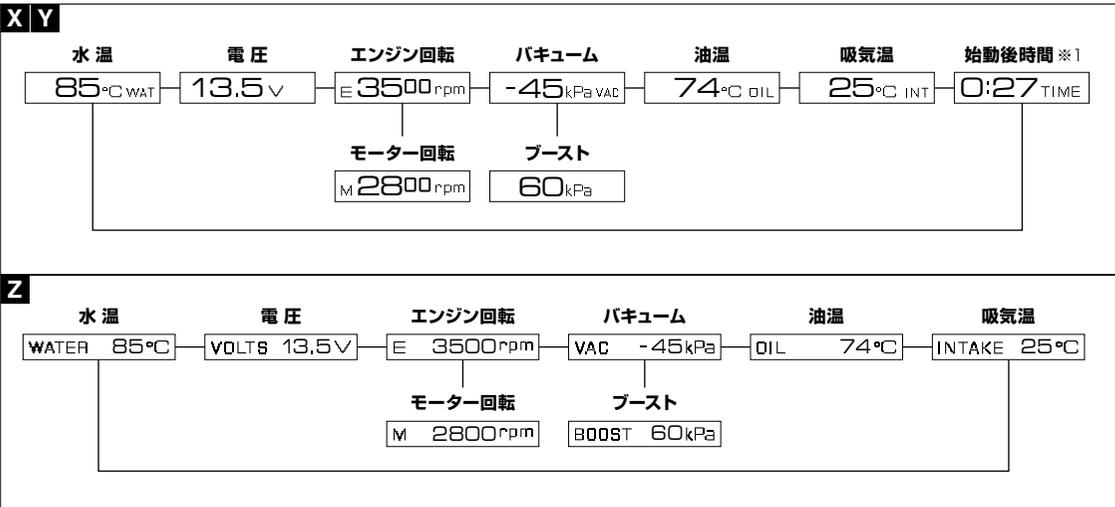


表示例



2 **設定完了**

**【各表示項目】** ※ 通信方式により表示項目が異なります。(7ページ参照)

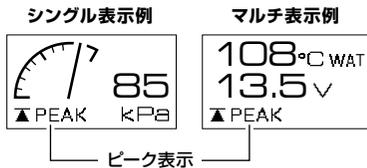


※1 始動後時間は、**X** と **Y** で表示可能で、**Z** では表示不可。

## ピーク値表示

1 通常表示中に MODE スイッチを 3秒長押し

2 **ピーク値表示**  
 ※ 電圧は最低値、それ以外は最高値を表示。  
 ※ モーター回転のピーク値は表示されません。



3 スイッチをばなし 5秒間操作なし

**通常表示**

**【ピーク値リセット】**

1 ピーク値表示中に MODE スイッチを 3秒長押し

2 通常表示に戻る

※ 全項目がリセットされます。  
 ※ ピーク値はキー OFF でリセットされます。

# 表示項目と表示範囲

通信方式	表示項目	表示範囲		
		1 アナログ	2 デジタル	3 4
A B C	水 温	50 ~ 110 °C	-35 ~ 150 °C	-35 ~ 150 °C
	電 圧	8.0 ~ 16.0 V	8.0 ~ 18.0 V	8.0 ~ 18.0 V
	エンジン回転	0 ~ 8000 rpm	0 ~ 9900 rpm ※2	0 ~ 9900 rpm ※2
	ブースト (バキューム)	-101 ~ 100 kPa	-101 ~ 154 kPa	-101 ~ 154 kPa
	吸気温	0 ~ 100 °C	-35 ~ 150 °C	-35 ~ 150 °C
	始動後時間 ※1	---	---	0:00 ~ 9:59分
M	水 温	50 ~ 110 °C	-35 ~ 150 °C	-35 ~ 150 °C
	電 圧	8.0 ~ 16.0 V	8.0 ~ 18.0 V	8.0 ~ 18.0 V
	ブースト	0 ~ 200 kPa	0 ~ 249 kPa	0 ~ 249 kPa
	油 温	70 ~ 150 °C	-35 ~ 150 °C	-35 ~ 150 °C
	吸気温	0 ~ 100 °C	-35 ~ 150 °C	-35 ~ 150 °C
	始動後時間 ※1	---	---	0:00 ~ 9:59分
H	水 温	50 ~ 110 °C	-35 ~ 150 °C	-35 ~ 150 °C
	電 圧	8.0 ~ 16.0 V	8.0 ~ 18.0 V	8.0 ~ 18.0 V
	エンジン回転	0 ~ 8000 rpm	0 ~ 9900 rpm ※2	0 ~ 9900 rpm ※2
	モーター回転	0 ~ 8000 rpm	0 ~ 9900 rpm ※2	0 ~ 15000 rpm ※2
	始動後時間 ※1	---	---	0:00 ~ 9:59分

※1 始動後時間はマルチ表示の **3** にのみ表示可能で、最小表示単位は1分です。

※2 最小表示単位は100rpmです。

## 各表示項目の説明

表示項目	説明
水 温	冷却水の温度
電 圧	バッテリーの電圧
エンジン回転	エンジンの回転数
モーター回転	ハイブリッド車のモーター回転数
バキューム	エンジンへの負圧
ブースト	ターボエンジンの正圧

表示項目	説明
油 温	エンジンオイルの温度
吸気温	エンジンへの吸気温度
始動後時間	エンジン始動後からの経過時間 (運転所要時間等の把握)

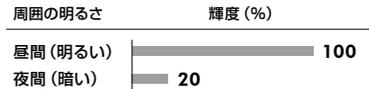
# 故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動で表示しない。	各コード、コネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車表をご確認ください。
	通信方式の設定が間違っている。	通信方式の設定をご確認ください。 (⇒ 本書4ページ)
バッテリー上がりする。 通信方式C設定車が、バッテリー上がりする。(プリウス ZVW50等)	通信方式の設定がC以外になっている。	通信方式をCに設定する。
車内が高温直後の作動時、表示の輝度が暗い。	製品の保護機能によって表示輝度が一時的に自動調整されている。	車内温度がエアコンなどで下がれば、約数分で通常輝度に復帰します。
キーOFFにしても表示が消えない。	ECU電源に連動しているため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長3分かかる場合がありますが、正常な動作です。	

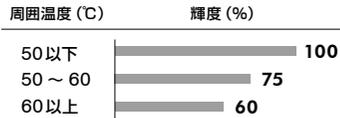
## 輝度自動調整

表示の輝度は下記の条件で自動調整されます。

### ● 周囲の明るさに応じた調整 (夜間の眩しさを軽減)



### ● 周囲温度に応じた調整 (表示体の性能低下防止)



【輝度の確認】 (通常は確認の必要はありません)

1

シングル表示中に  
DOWNスイッチを  
3秒長押し

2

輝度表示

100%  
□-10

75%  
□- 8

60%  
□- 6

20%  
□- 2

3

スイッチをなし  
5秒間操作なし

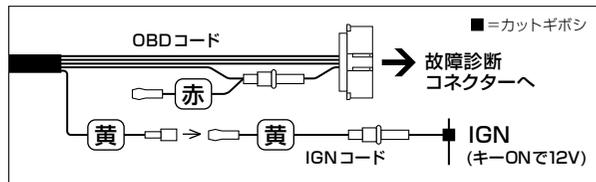
通常表示

## 一部車種で電源をIGNへ変更する (対応車表に記載がある車種)

対応車表に記載がある車種、又は作動に支障がある場合は、配線をIGNへ変更します。

### 【接続方法】

OBDコードの(赤)と(黄)コードのコネクタを抜き、(黄)コードのコネクタをIGNへ接続。



### カットギボシの使い方

1  10mm 接続するコードの被ふくをむく。	2  10mm 製品コード先端の被ふくをむく。	3  両方の芯線を絡める。	4  確実にかしめる。	5  ビニールテープで絶縁する。	かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。
----------------------------	----------------------------	---------------	-------------	------------------	---

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。  
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。  
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。